

◆グリーンエネルギーを利用したEVトラックでの再配置実証実験

ドコモグループでは、自社の事業活動での温室効果ガス排出量を2030年までに実質ゼロにする2030年カーボンニュートラル宣言を行い、カボニュー活動としてお客さま・パートナーと共に温室効果ガス排出低減に向けた取り組みを進めています。

ドコモ・バイクシェアでは、再生可能エネルギー由来の電気を使用したEVトラックによるシェアサイクルの最適配置の実証実験を2023年1月25日から2月16日まで実施しました。中央区晴海の倉庫に太陽光パネルと蓄電池を設置し、太陽光パネルで発電した電気を蓄電池へ一時蓄電の上、EVトラックへ充電する仕組みです。これまでのトラックを用いた自転車の配置に比べ環境に配慮した運営が可能となることを検証しました。太陽光パネルと蓄電池からEVトラックへの電力供給能力の測定や、EVトラックの走行による電池の使用量の測定、CO₂削減量データの取得を行い、環境負荷軽減の効果について分析を実施しました。

EVトラックを使用したシェアサイクルにおける最適配置作業の取り組みは、日本初の事例となりました。

